

チャドクガ・アメリカシロヒトリの防除について

チャドクガ・アメリカシロヒトリの被害樹木と発生時期

	チャドクガ	アメリカシロヒトリ
発生写真		
被害樹木	ツバキ、サザンカ類	カキ、サクラ、ウメ、プラタナス、アメリカフウ、ハナミズキ等
発生時期	第1発生期 (卵期) 卵で越冬します。 (1化期) (幼虫期) 5月上旬～6月中旬 第2発生期 (卵期) 7月中旬～7月下旬 (2化期) (幼虫期) 8月上旬～9月中旬	第1発生期 (卵期) 5月中旬～6月上旬 (1化期) (幼虫期) 6月中旬～7月中旬 第2発生期 (卵期) 7月下旬～8月上旬 (2化期) (幼虫期) 8月上旬～9月
	※気象条件等により発生時期がずれることがあります。	
被害	- 幼虫初期は葉裏に群生し、葉肉だけを食べるので、茶色の葉が目立ち、成長するにつれ葉全体を食べるようになります。 - 幼虫や、飛散した毒毛に触れると激しいかゆみを伴う赤い発疹が生じます。	- ふ化した幼虫は白い網状の巣網を作り群生して成長します。付近の葉を食べ尽くすと、さらに新しい枝に移り葉を食害していきます。 - 毒を持った体毛はありません。
捕殺適期	卵期または幼虫初期の群生している時期	幼虫初期の巣網中に群生している時期
防除	 - 卵は葉の表裏に塊(かたまり)でいます。 - 卵を産み付けられた葉を除去することが最も効果的です。 - 防除を行うときは、手袋、長袖を着用し、卵や幼虫に触れないようにしてください。	 - 初期は食害で葉が白く透けて見えます。 - 巣網を高枝切りバサミなどで枝葉ごと切り取り、踏みつぶしてください。 - 幼虫は2週間ほどで巣網を出て分散するため、早期発見・早期防除が重要です。

身近なアメシロ防除のポイント！
～発生場所やサナギの潜伏箇所など～



☆サナギ

窓枠の雨よけ
や屋根の下など、
雨のあたらない隅や角に
サナギのマユ



☆サナギ

水切りの間や、
縁の下の隅にサ
ナギのマユ



☆サナギ

看板を止める横
木のあいだや、
裏の骨組み



☆サナギ

ブロック塀やタ
イル張りの塀
にある目地の
隙間



◎幼虫

幼虫は、樹木の葉に
生み付けられた卵か
ら孵化し、集団で成長。
3cmほどになると単独
で移動し周辺の葉を
食害



☆サナギ

樹木の幹にあるコ
ケと樹皮の間



- 各家庭の庭(民有地)の樹木は自己管理が原則です。
- 早期発見・早期防除に努めましょう。

アメリカシロヒトリは、拡散する前の発生初期や、サナギの時期に防除することで、その後の被害を大きく減らすことが可能です。

毒はなく、取り除いて踏み潰すことで防除ができるため、ご自宅の庭など、積極的に見回り、早期の対応に努めてください。

〔 ◎幼虫防除 … 6～7月、8～9月
☆サナギ防除 … 7～8月、11～4月 〕

金沢市の助成制度について

ご家庭での防除が困難な場合、町会単位での防除に助成が受けられます。

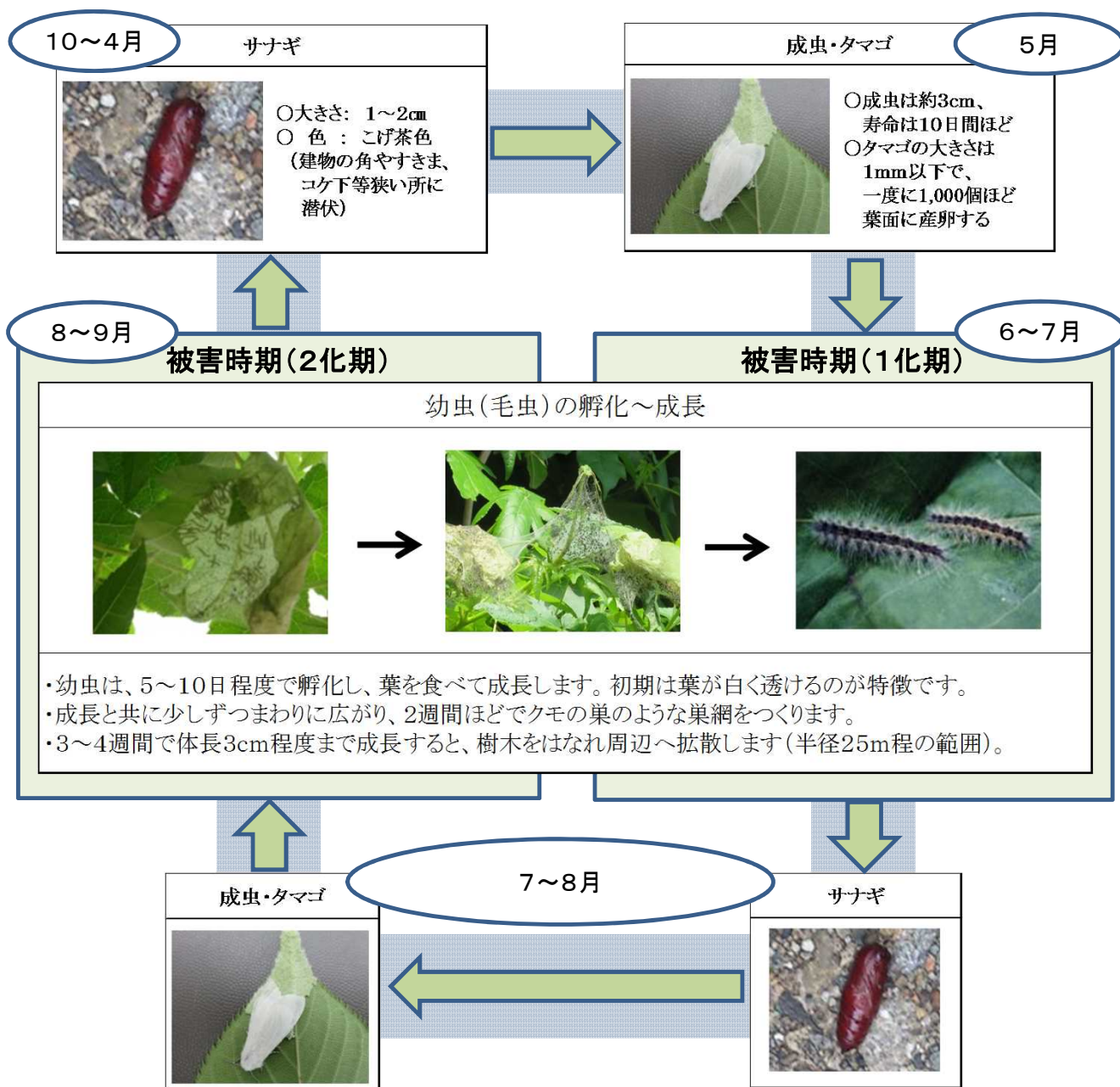
- 助成を受ける場合は、各家庭で発生を確認したうえで、町会で防除希望者をとりまとめ、町会長から直接、地区指定防除業者へ依頼してください。

○助成率は、防除経費の3/4です。

○対象となる害虫は、アメリカシロヒトリ、チャドクガに限ります。

○害虫の発生していない樹木を含めた一斉薬剤散布や予防目的の散布には助成しません。

金沢でのアメシロの発生サイクル



農薬の適正使用についての注意事項

農薬は適正に使用されない場合、人や周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。
害虫防除は、被害部分のせん定や捕殺などで対応するよう最大限努めてください。
やむを得ず、農薬を散布する場合は、最小限の部位や区域にとどめてください。
また、農薬使用の際は、指定された使用方法を守り、事前に周辺住民に対して、日時や農薬の種類、連絡先等を周知しておいてください。
金沢市使用薬剤：トレボン乳剤4,000倍希釈液(普通物)

詳細は

金沢市 都市樹木害虫

検索

【お問い合わせ】 金沢市 都市整備局 緑と花の課
TEL: 220-2356 FAX: 224-5046